

基盤的調査・研究

委員会からの主要意見
現状についての評価・質問等
○科学的に高いレベル、独創的な研究が実施されていると高く評価する。環境科学の基礎研究を先導する上で果たす役割は大きい。 ○モニタリングの継続によって顕著な調査研究の成果が得られていると評価する。 ○基盤研究では、PDCA 型の課題解決型アプローチだけでなく、課題発見的なアプローチも重要だろう。
今後への期待など
○近年、大学において中長期的研究の基盤が脆弱化していることから、今後、国環研と大学等との連携（とくに人材育成）に期待する。 ○基盤的研究は今後の国環研の発展には欠くべからざるものであるため、大事に育てるようにしてほしい。

主要意見に対する国環研の考え方
①国環研の基盤的調査・研究を評価していただきありがとうございます。各分野において、基礎的な測定手法の開発には力を注いでいます。課題発見的な研究アプローチも大事にしながら、引き続き高いレベルの基礎研究を進めるべく努力したいと思います。 ②研究者の自由な発想も尊重しつつ、今後もプログラム研究とうまく連携し、科研費やその他外部資金等も活用しながら多彩な研究を長期的に展開していきたいと考えております。